

デザインのモノがたり

4

ナカムラ式 eco cafs mini  
株式会社ナカムラ消防化学  
TEL.0957-52-1617  
大村市平町1933

ナカムラ消防化学 検索

長崎デザインアワード2013

銅賞

小さくてもパワーは絶大!  
ありそうでなかった  
世界初のコンパクト消防車

外装のデザインは「青=水」「白=泡」「オレンジ=火」を表し、水と泡で火を包み込むイメージを表現。全面と後面には泡をイメージしたリングもデザイン。

# ナカムラ式 eco cafs mini

**時**々、こんな不安が頭をよぎる。万一火事になって、消防車はうちの前までは来られないだろうな……。入り組んだ細い路地が多い長崎のまちでは、軽自動車しか通れない道はざらだ。私と同じ不安を抱いている人は案外多いのではないかと思う。

今回、そんな不安を解消してくれる消防車が開発された。軽自動車をベースに改造したコンパクトな消防車は、密集した住宅地や山間部の細い道もスイスイと進んでいく。しかも、その装置と呼ばれる、水ではなく泡を放水する装置を搭載することで、水だけの放水と比べ、水使用量を二十分の一に削減。少量の水で大きな消火を可能にした。これぞ世界初、新時代の消防車である。

開発を手掛けたのは「ナカムラ消防化学」の五味泰洋さん。社長から「小型でパワーのある、今までになかった消防車をつくりたい」という話があったのは三年前。そのときのことを五味さんは笑いながらこう振り返った。「無理だと思いましたが――」。

通常、cafs装置は大型の消防車に搭載しているもので、かなりの重さがある。それを重量制限のある軽自動車に乗せるのは難しいと考えたのだ。しかし、試行錯誤の末、なんとか軽量化を実現。開発を諦めなかった理由を五味さんは「自分にとって、初めてのプロジェクトでしたから」と話す。

東京生まれ、東京育ちの五味さんがナカムラ消防化学に入社したのは二〇一一年のこと。それまで消防車のシャーシ（自動車の内部構造を支えるために取り付けられている骨組みのこと）の設計をしていたが、仕事をしていく中で、「消防車を丸々一台つくってみたい」と考えるようになった。ポンプ自動車をつくっているのは、日本にわずかに八社だけ。五味さんは会社の理念に共感したナカムラ消防化学への入社を決意。家族を伴って、見知らぬ土地へやってきた。コンパクト消防車は、そんな五味さんにとって初めての大事な仕事だったのだ。



## 五味泰洋

ナカムラ消防化学  
デザイナー

一九七四年東京都生まれ。二〇一一年、消防車メーカー「ナカムラ消防化学」に入社。コンパクト消防車「ナカムラ式 eco cafs mini」の設計デザインを手掛ける。都会の狭い道路に対応できるだけでなく、水源がなくても初期消火活動が可能で、少ない水量で大きな消火ができる点など、様々な工夫を凝らした消防車は、業界からも注目を集めている。新たなプロジェクトでもいくつかが描いているそう。今後の活躍が期待される。



ナカムラ式 eco cafs mini

操作盤を後部に集中させることにより左右どちらへも放水活動ができ、狭小地での消火活動に迅速に対応できる。



オリジナルのアルミパネルはワンタッチで操作が可能。車内に設置したホースなどもすぐに取り出すことができる。